

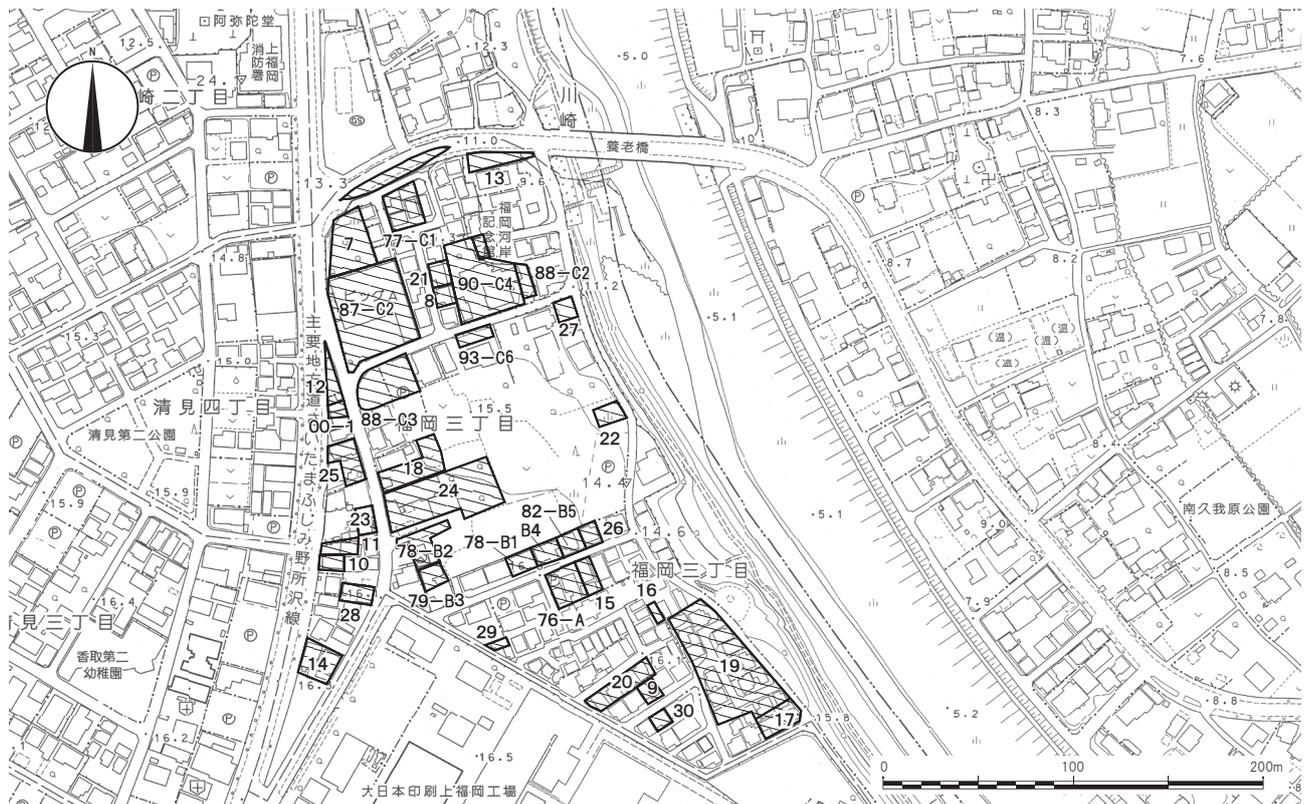
第3章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2 m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16 mで、遺跡の範囲は南北360 m、東西160 m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2022年4月現在36ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015年の第19地点でも新たに3基の円墳を検出した。本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。



第6図 ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第7表 ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
76-A	大字中福岡字遠見 1228～2021	1976.9.11～16	306		個人住宅	古墳時代住居跡1、竪穴状遺構、土師器等	A-1次	上遺調、市史資Ⅰ
77-C1	大字中福岡字清見 1480	1977.8.2～27	1,794		宅地造成	縄文時代住居跡5、古代住居跡2、竪穴状遺構、炉跡、土坑、墨書土器等	C-1次	ハケC、市史資Ⅰ
78-B1	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165		個人住宅	遺構なし、縄文土器	B-1次	上埋Ⅰ、市史資Ⅰ
78-B2	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360		貸家	炉跡、土坑、縄文土器	B-2次	上埋Ⅰ、市史資Ⅰ
79-B3	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166			土坑、縄文土器	B-3次	上埋Ⅱ、市史資Ⅰ
82-B5	大字中福岡字遠見 1228-46	1982.5.10～17	165			溝、縄文土器	B-5次	上埋Ⅴ
87-C2	福岡3-2068-1・2	1987.4.16～5.29	1,900		倉庫付住宅 改築	縄文時代住居跡11、古代住居跡4、古代掘立柱建物跡1、土坑、縄文土器、土師器等	C-2次	上埋Ⅹ、市史資Ⅰ
88-C3	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627		駐車場	縄文時代住居跡4、古代住居跡2、縄文土器等	C-3次	上埋11、市史資Ⅰ
88-C2	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60		擁壁改修	縄文時代住居跡2	C-試	上埋11、市史資Ⅰ
90-C4	福岡3-2069-1の一部 (旧福田屋敷地内)	1990.6.20～9.6 H3.1月末	500		河岸記念館 管理棟・ 庭造成	旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処・物置跡・粘土遺構)、縄文時代住居跡8、古代住居跡3、土坑、溝、縄文土器、土師器等	C-4次	H2上社、市史資Ⅰ、 上埋17
		1994.6.10～1.31	54					
93-C6	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6～18	141.91		個人住宅	土坑、縄文土器	C-6次	上埋16
00-1	福岡3-1184-8	2000.1.26	100		個人住宅	遺構遺物なし	C-試(2)	上埋22
7	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	(130)	宅地造成	縄文時代住居跡3、古代住居跡4、	C-7次	市内3・13
	福岡3-1479-1	(2013.8.10・11) 2013.8.21～11.11	712.35	(34.7) 520	分譲住宅	集石土坑、土坑、溝、井戸、縄文土器、須恵器等		
8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	(11)	個人住宅	縄文時代住居跡1、溝、縄文土器等	C-8次	市内6
9	福岡3-1257-7、 1259-1	(2010.2.2～4)	120	(30)	個人住宅	土坑、縄文土器	C-9次	市内8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	(37)	個人住宅	溝、遺物なし		市内14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21・22)	157.7	(30)	分譲住宅	屋外埋蔵、縄文土器		市内14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	(22)	分譲住宅	ピット、縄文土器等		市内15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.3)	183	(2.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	(15.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8・9)	184.09	(64.7)	分譲住宅	土坑、縄文土器片		市内20
16	福岡3-1254-7・14・ 17	(2014.8.11～9.2)	68	(26.25)	分譲住宅	古墳1、人物・円筒埴輪、縄文土器等		市内20・21
		2014.9.3～9	19.36					
17	福岡3-1219-1・2	(2014.9.26～30)	98.58	(50.4)	分譲住宅	溝、縄文土器等		市内20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4～10)	510.67	(107.85)	分譲住宅	縄文時代住居跡1、土坑、溝、縄文土器		市内16・20
		2015.1.6～16		64				
19	福岡3-1222-1、 1223～1225、1255	(2015.4.2～5.11・ 10.13)	2,296	(572.6)	宅地造成	古墳3、礎石建物跡1、溝、ピット、象形・円筒埴輪、縄文土器等		市内21・22
		2015.6.2～9.19		885				
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14～16) 2015.10.29・30	375	(90.4) 33	分譲住宅	堀跡、土坑、火工廠境界杭、ピット、土師器		市内21
21	福岡3-1193-4・15、 2069-10	(2016.1.5)	101	(20.2)	個人住宅	遺構遺物なし		市内22
22	福岡3-2061-3の一部	(2016.12.26～ 2017.1.19・9.11) 2017.1.25～2.8	249.32	(116.65) 40.5	はけ自治会 集会施設	古代住居跡1、土坑、ピット、縄文土器等		市内24
23	福岡3-1183-1の一部	(2017.7.18)	137	(14.27)	個人住宅	ピット、縄文土器		市内24
24	福岡3-1178-1、 1179-1、1180-1、 1181-1、2066-2、 2067	(2017.7.19～27) 2017.7.28～8.7	1,702.15	(446) 63.75	宅地造成	縄文時代住居跡1、竪穴遺構、土坑、集石土坑、ピット、縄文土器等		市内23
25	福岡3-1184-5・6	(2018.6.12)	297	(68.27)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内25
26	福岡3-1228-48	(2019.6.25・26)	135	(41.13)	分譲住宅	土坑、溝、須恵器、紡錘車		市内25
27	福岡3-2061-2	(2020.3.25～27)	226.22	(61.8)	共同住宅	遺構なし、縄文土器等		市内25
28	福岡3-1363-7	(2020.9.10・11)	157.79	(46.75)	事務所	溝、縄文土器等		市内26
29	福岡3-1249-3	(2021.8.5)	50.81	(6.6)	個人住宅	遺構遺物なし		市内27
30	福岡3-10-9	(2021.10.27)	101.84	(14.2)	個人住宅	遺構遺物なし		市内27

II ハケ遺跡第 29 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2021 年 8 月 2 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2021 年 8 月 5 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.2m のトレンチ 1 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

III ハケ遺跡第 30 地点

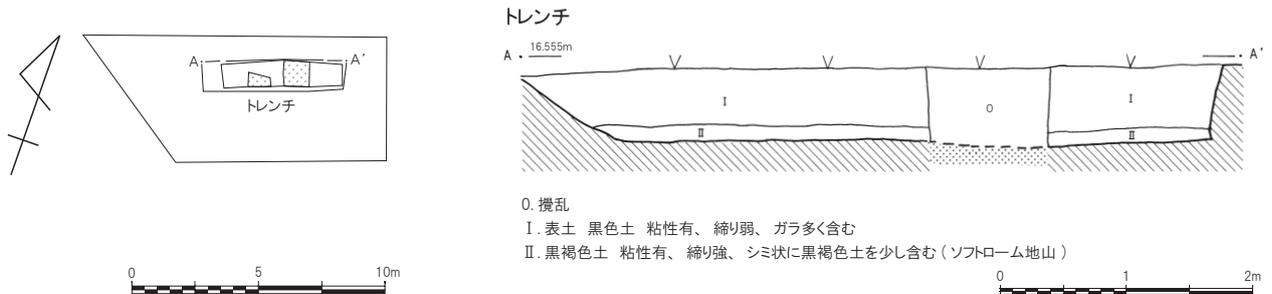
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2021 年 10 月 15 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2021 年 10 月 27 日に試掘調査を実施した。

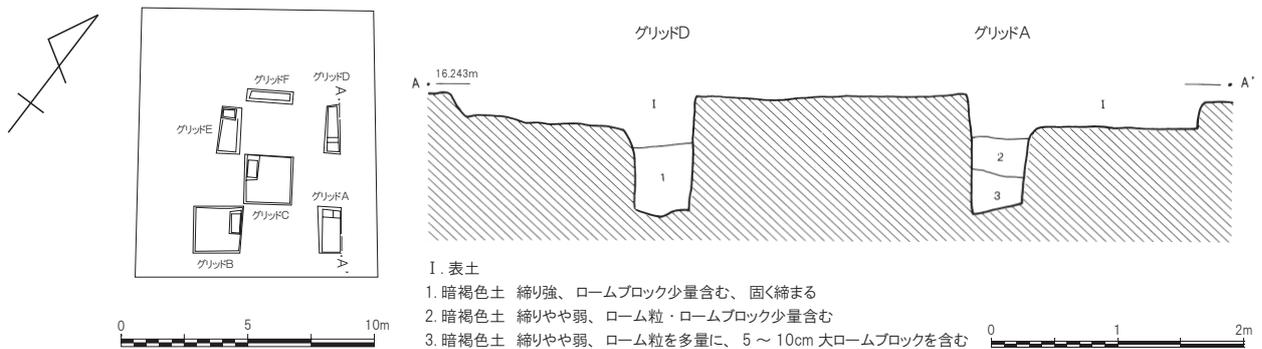
試掘調査は、幅約 30 ~ 100 cm のグリッドを 6 ヶ所設定し人力による表土除去及び表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 90 ~ 100 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

第29地点



第30地点



第 7 図 ハケ遺跡第 29・30 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)



ハケ遺跡第 29 地点トレンチ



ハケ遺跡第 30 地点グリッド A 土層



ハケ遺跡第 30 地点グリッド B 土層



ハケ遺跡第 30 地点調査風景